

デジタル社会を支える高度な磁気技術で世界に挑戦

(宮城県中小企業等外国出願支援事業)

株式会社東栄科学産業 名取工場

事業概要

昭和57年1月に仙台にて設立。科学機器の「技術専門商社」として、研究開発や品質管理に関係する機器の販売、メンテナンス及び自社ブランド装置の開発製造を行っています。

設立当初は商社としてのスタートでしたが、「ものづくりをしたい」という創業者の強い思いから、商社として培ってきた営業力に技術力を融合して、平成8年に技術部門を新設。大学や試験研究機関との協業のもと、自らも装置の開発・製造を行うようになりました。

技術部門のある名取工場では、デジタル機器に搭載される磁気デバイスを開発・生産するために必要な装置の開発・製造を行っており、自社で製造された装置は国内外の企業や研究機関へ納入されています。

また、平成27年には、[宮城県中小企業等外国出願支援事業](#)を活用し、自社開発の装置を韓国および米国へ特許出願しました。その新規性が認められ、出願した両国で特許を取得し、高い技術力を武器に海外へ活躍の場を広げています。本年度も同支援事業に採択となり、人々の生活に必要不可欠となっている半導体の量産過程における検査装置の特許取得を目指しており、市場規模の大きな海外への更なる事業展開を見据えています。

さらには、[提案公募型技術開発事業](#)を活用し、「EV化時代に増大する磁気センサの需要を見据え検査能力を3倍に向上させた磁気センサ検査装置の開発」のテーマで、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（通称「サポイン事業」）に採択されました。新たなデバイスが産業活用されるために必要な量産装置の開発や性能向上に向けて、公益財団法人電磁材料研究所と連携して、新しい検査装置の開発を目指し、精力的なチャレンジを続けています。

企業の声

外国出願支援事業活用により、当社初となる海外での権利化を実現しました。権利化技術を搭載した検査装置は東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センターに設置され、海外展開に向け評価及びPR活動を行なっている段階です。

今年度は当該事業に加え、サポイン事業における事業管理機関としても連携頂き、感謝申し上げます。

企業概要

代表者：代表取締役 山城 智万

住所：名取市愛島台1-101-60

電話：022-382-6681

E-mail：gijutsu@toei-tc.co.jp

URL：<https://www.toei-si.jp/>

従業員：26名（全社：107名）

業種：卸売業、製造業

主要事業：科学機器の販売、メンテナンス及び磁気特性評価機器の開発、設計、製造販売



自社製品(電磁石)の一例とロゴマーク



名取工場外観

[宮城県中小企業等外国出願支援事業](#)は、中小企業等による海外での産業財産権の取得を資金面から支援し、海外での知的財産活動の活性化を図ることを目的として、外国出願に要する経費の一部を補助します。